



関連イベント

食『ままやセット』 スパイラルカフェ〈1F〉

末妹・向田和子をはじめた赤坂の小料理屋「ままや」の看板メニューだった「ひと口カレー」「人参のピリ煮」「さつまいものレモン煮」を料理家の冷水希三子が再解釈して蘇らせ、特別メニューとして提供いたします。

※1日限定30食〈ドリンク付き〉

「『ままや』のメニューには伝授するレシピなんてないのよ」と和子さん。本や写真ではシンプルに見えるけど、いやいやそうでもないみたい。そんなことを考えつつ、邦子さんと和子さんと頭の中で会話をしながら、レシピを考える楽しい機会をいただきました。皆さんの頭の中に、それぞれの「ままや」の風景が浮びますように。

冷水希三子〈料理家〉

本『向田書店』 MINA-TO 〈1F〉

向田邦子の著作をはじめ、その出版元である出版社がおすすめする書籍約30タイトルを販売します。本イベントオリジナルの選書をお楽しみください。

SPINNER スパイラルガーデン〈1F〉 ※事前予約制

スパイラルのwebマガジンSPINNERの編集長である前田エマをホストに現代を軽やかに生き抜く女性クリエイターをお迎えし、女性と仕事、暮らし、おしゃれ、文化、生活、旅……。向田邦子が関心を寄せた様々な事象について語り合います。

※日時、出演者、予約方法につきましては決定次第、スパイラルウェブイベントページにて発表いたします。オンライン配信の予定はございません。

女性が活躍することが今よりもっと難しかった時代に、女であることをいい事とも悪い事ともせず、自分のプライドに痛いほど素直に生きた向田さんの姿は、今こそ学びたい、きらめきで溢れています。

前田エマ
〈モデル/SPINNER編集長〉

公演チケット販売

ドキュメンタリー、演劇、コンサートの鑑賞チケットはチケットぴあにて販売いたします。
12月21日〈月〉正午より一般発売開始

※チケットぴあ
<https://w.pia.jp/t/mukodakuniko/>
0570-02-9999 〈24時間受付〉 Pコード：646-038



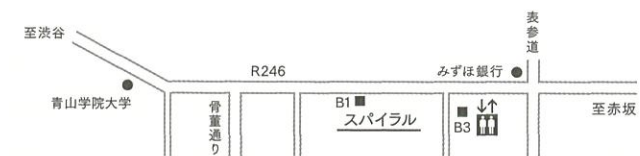
<ご注意> ※チケットぴあ店舗、コンビニ、スパイラルでの販売はございません。※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※販売可能座席数は感染症対策を鑑み、変動いたします。一般発売日以降に追加販売を行う場合がございます。あらかじめご了承ください。※車椅子でご観劇のお客様は予めチケットをお買い求めの上、テレビマンユニオン「いま、風が吹いている」専用ダイヤルにご連絡ください。車椅子スペースには限りがございます。※公演中止の場合を除き、お客様のご事情によるキャンセル・払戻にはご対応いたしかねます。チケットのご購入の際は、ご自身の体調や環境なども含め、ご判断いただきますようお願いいたします。※チケットご購入時に登録されたお名前とご連絡先は、万が一ご来場者様などから感染者が確認された場合に、必要に応じて保健所等の公的機関に提供させていただく可能性がありますので、あらかじめご了承ください。※受付開始は開演の45分前、開場は開演の30分前からいたします。

公演に関するお問い合わせ

テレビマンユニオン
「いま、風が吹いている」専用ダイヤル
090-8859-8399 〈月～金 12時～17時〉
※チケットに関しては上記のプレイガイドにお問い合わせください。※年末年始の期間(2020年12月29日～2021年1月3日)は問い合わせ窓口が休業となります。

展覧会に関するお問い合わせ

スパイラル 代表
03-3498-1171 〈11時～20時〉
※COVID-19の感染拡大状況によってスパイラルの営業時間・開館日程の変更や入場制限を行う場合がございます。詳細はスパイラルウェブをご確認ください。※年末年始の期間(2020年12月29日～2021年1月3日)は問い合わせ窓口が休業となります。



スパイラル TEL 03-3498-1171 (スパイラル代表)
地下鉄表参道駅(銀座線・千代田線・半蔵門線) ■ B1/B3(エレベーター有) 出口

スタッフ&協力クレジット

監修/向田和子 総合プロデューサー/合津直枝(テレビマンユニオン)
展覧会プロデューサー/小林裕幸(スパイラル) 会場構成・アートディレクション/KIGI
企画制作/ままや、テレビマンユニオン 企画協力/スパイラル
会場協力/株式会社ワコールアートセンター 協力/講談社、新潮社、文藝春秋、東京ニュース通信社
特別協力/かごしま近代文学館 編集/上條桂子 写真/山口恵史 広報/竹形尚子(ディリープレス)

オンライン配信

ドキュメンタリー、演劇、コンサートについて、テレビマンユニオンチャンネルにてオンライン配信を行います。12月21日〈月〉正午より販売開始。

1月30日〈土〉～2月28日〈日〉
※期間限定配信(国内のみ視聴可)
<http://members.tvuch.com/member/mukoda/>

【配信内容/料金】 ドキュメンタリー/500円
演劇/1,000円 コンサート/1,000円



特設Instagram

@mukodakuniko_kakeru

公式Instagramを公開中です。展覧会の情報やイベントの情報を告知していきます。



向田邦子展「いま、風が吹いている」ウェブサイト

展覧会の情報や最新のイベント情報、イベントの予約方法については、スパイラルウェブイベントページをご覧ください。また、会期終了後には展覧会の様子が3Dバーチャルで体験できるコンテンツを発信予定。



わたしたちと向田邦子



いま、
風が
吹いている

主催
没後四〇年向田邦子カケル会

会場
スパイラル
東京都港区南青山
五丁目六の二十三

会期 ※会期中無休
二〇二一年
一月十四日(木)から
一月二十四日(日)迄

没後四〇年特別イベント
向田邦子

旺盛な好奇心で、風のように軽やかに生きた向田邦子。展示・映像・演劇・音楽……さまざまな分野で活躍する才能と出会うことで、新しいクリエイションが生まれました。



写真提供：かごしま近代文学館

女性の社会進出はまだこれからという時代に、編集者として活動を始め、やがて多数のラジオ番組を構成、作家となり約1,000本のテレビドラマの脚本を手がけ、ヒットドラマの旗手となった向田邦子。さらにエッセイを書き、数作の短編小説で直木賞を受賞。残された多くの言葉や物語は、時を経ても色褪せることなく人々の心に響き続けています。そして、寸暇を惜しんでおしゃれを楽しみ、美味しいものに目がなく、旅が好き、そんな“自分らしく気持ちよく暮らしたい”という生活スタイルもまた、世代を超えて共感を呼び、憧れの対象であり続けています。台湾の飛行機事故による突然の死から40年となる2021年、末妹・向田和子監修のもと、合津直枝〈テレビマンユニオン〉を総合プロデューサーに迎え、特別イベントを開催します。会場は向田邦子が最後の11年を過ごし愛した街、東京・青山にある複合文化施設、SPIRAL(スパイラル)。展示会の会場構成、アートディレクションをKIGI(キギ)の植原亮輔と渡邊良重が行います。軽やかでしなやか、風のように颯爽と生きた向田邦子51年の軌跡が、デザイン、グラフィック、文芸、演劇、音楽など、現在さまざまな分野で活躍する才能と掛け合わせ、新たなクリエイションが生まれました。向田邦子の作品や生き方からしみ出た心豊かな世界観を、どうぞご体感ください。



51歳の生涯、その後衣食住の取材をあらゆる方々から受け、新聞雑誌等に紹介され続け、テレビドラマ、随筆、小説等は演劇、朗読、教科書等に採用され、今も皆々様のお力添えのもと生き続けています。ありがとうございます。没後40年イベント、開催。大好きな青山の住まいから300歩。スパイラルでお待ちしております。

“巨星”墜って40年。これまでの文学館での開催とは一線を画した【未来に拓ける催し】とした。向田邦子を回顧するのではなく、向田邦子と「今」がコラボする。常に初心に戻り新たなことに挑戦した向田邦子を見習って、【向田邦子×〈掛ける〉今】。掛け合わせる「今」は、アートであり、演劇であり、音楽であり、料理であり……即ち若い力である。新しい「向田伝説」はじまりの予感。どんな風が吹くのか、いや、どんな風を巻き起こせるか……共に楽しみたい。

2021年、向田邦子さんが再び青山に戻ってくるわけなので、少しだけお祭り気分を演出させてもらいます。風が吹き抜けるようなスパイラルの空間の特徴を活かして、向田邦子さんの生み出した作品、カルチャー、ライブを、この空間の空気に乗せる。そして、邦子さんの作品を通して、観客の方々のイメージネーションが限りなく広がっていくことを想像して展示会の構成を考えました。

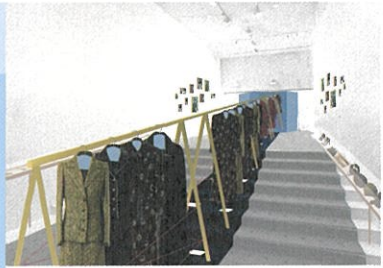
向田 邦子〈むこうだくにこ〉 1929－1981

1929(昭和4)年東京生まれ。保険会社に勤める父親の転勤に伴って幼少時から高等女学校時代まで日本全国を転々としながら育つ。ふるさとを持たない身でありながら、小学3年生から2年余りを過ごした鹿児島を、のちに「故郷もどき」として親しむ。実践女子専門学校(現・実践女子大学)国語科を卒業後、映画雑誌の編集者を経て、ラジオの構成作家、テレビ脚本家として活躍。代表作には「寺内貫太郎一家」「阿修羅のごとく」などがあり、1970・80年代のヒットメーカーとなる。46歳での乳がん発症をきっかけにエッセイを手掛けるようになり、「父の詫び状」を出版。1980年「小説新潮」に連載中の『思い出トランプ』の「花の名前」「かわうそ」「犬小屋」で第83回直木賞を受賞し、“時の人”となる。翌1981年8月飛行機事故で急逝。享年51。残した作品と同様に、旺盛な好奇心を寄せたセンスのいい生活スタイルが多くの人々を魅了し続けている。

展示会「いま、風が吹いている」

スパイラルガーデン(1F) 入場無料

スパイラルガーデン全体に「風が吹き抜けていく」流れをイメージし、向田邦子の愛用品、生原稿、写真など約300点の資料を展示。仕事もプライベートも好奇心いっぱいに駆け抜けた彼女の人生を辿ります。現在のテレビ界を支える「向田邦子賞」受賞した脚本家38名のパネル展示もあります。また、大きな吹き抜けの空間には「風の塔」を設置(音声：小泉今日子)。向田作品から選りすぐったときめきの言葉が、風に乗ってふわりと観客のもとへ舞い降ります。会場構成・アートディレクション：KIGI
2021年1月14日(木)－24日(日) 11:00－20:00 ※入場制限を行う場合がございます。



ドキュメンタリー『向田邦子の贈り物』

スパイラルホール(3F) チケット制

ドラマ、小説、エッセイ、食、装い……向田邦子に魅せられた各界30余名が、「わたしと向田邦子」をおおいに語り、歌い、踊り、つくる……未来につなぐ「今」の記録です。

出演：あずみ虫(イラストレーター)、井上由美子(脚本家)、江口宏志(蒸留家)、大草直子(スタイリスト)、太田光(漫才師)、岡室美奈子(早稲田大学演劇博物館館長)、角田光代(小説家)、川原伸司/平井夏美(作曲家)、岸本加世子(女優)、黒木瞳(女優)、小松美羽(現代アーティスト)、酒井順子(エッセイスト)、作原文子(インテリアスタイリスト)、鈴木理策(写真家)、TAKAHIRO(ダンサー)、田中達也(ミニチュア写真家)、タナダユキ(映画監督)、DOTAMA(ラッパー)、登美丘高校ダンス部、中井美穂(アナウンサー)、永井尋己(CGクリエイター)、中野量太(映画監督)、西加奈子(小説家)、西翔子(漫画家)、西谷牧人(チェロ奏者)、華恵(エッセイスト)、藤田貴大(演劇作家)、冷水希三子(料理家)、平松洋子(エッセイスト)、森下佳子(脚本家)、山崎ハコ(歌手)他予定。 旅人：石橋静河(女優)

取材・構成：朝永直輝

2021年1月20日(水) 15:30/18:30・21日(木) 12:30/15:30/18:30(上映時間：約80分)

料金：1,100円 全席自由(整理番号付き) ※チケットぴあ Pコード 646-038



写真提供：かごしま近代文学館

演劇『寺内貫太郎33回忌』

スパイラルホール(3F) チケット制

頑固で短気、でもどこか憎めない人情家、昔ながらの石材店主人・寺内貫太郎が亡くなって33年。あっちの世界から、こっちの世界から縁者が集まってワイワイガヤガヤ。大ヒットドラマ「寺内貫太郎一家」が蘇ります。

出演：浅田美代子、溝端淳平、荒川良々、眞島秀和、青木さやか、小林亜星(声)他

脚本・演出・プロデュース：合津直枝

2021年1月23日(土) 14:00/17:30(上演時間：約80分)

料金：3,900円 全席自由(整理番号付き) ※チケットぴあ Pコード 646-038



写真提供：「寺内貫太郎一家」TBS

音楽『風のコンサート』

スパイラルホール(3F) チケット制

「阿修羅のごとく」「あ・うん」のテーマ曲をはじめ、向田作品おなじみの楽曲を10数曲、超一流アーティストが奏でる1回限りの特別なコンサートです。ラストはあの「瑠璃色の地球」に合唱を添えてー。

出演：石田泰尚(ヴァイオリン) 西谷牧人(チェロ) 山中惇史(ピアノ) 波多野睦美(メゾソプラノ) 杉並児童合唱団
MC：華恵

選曲・構成・プロデュース：合津直枝

2021年1月24日(日) 15:00(上演時間：約80分)

料金：3,900円 全席自由(整理番号付き) ※チケットぴあ Pコード 646-038



左から石田泰尚、山中惇史、西谷牧人

※ドキュメンタリー、演劇、コンサートは、期間限定/有料にてオンライン配信(録画)を行います。詳細は裏面。

トーク「向田邦子とわたし」

スパイラルガーデン(1F) 入場無料 ※事前予約制(定員各回30名)

向田邦子本人や作品にゆかりのかる方々をお迎えし、向田作品の色褪せない魅力や、多くの人に愛された人柄について語り合うトークイベントを開催します。 ※日時、出演者、予約方法につきましては決定次第、スパイラルウェブイベントページにて発表いたします。オンライン配信の予定はございません。